

5. 県民の皆様とのコミュニケーション

(1) 環境情報の発信

情報共有がコミュニケーションの第一歩と考え、
様々な情報提供を行っています。

ア ホームページ「三重の環境」

協働・連携の実現には情報公開・情報発信が最重要であるとの考えのもと、三重県の環境が何でもわかるホームページ「三重の環境」<http://www.eco.pref.mie.jp> を毎日更新し、年間 312 万ページビュー（平成 13 年度実績）のアクセスがありました。

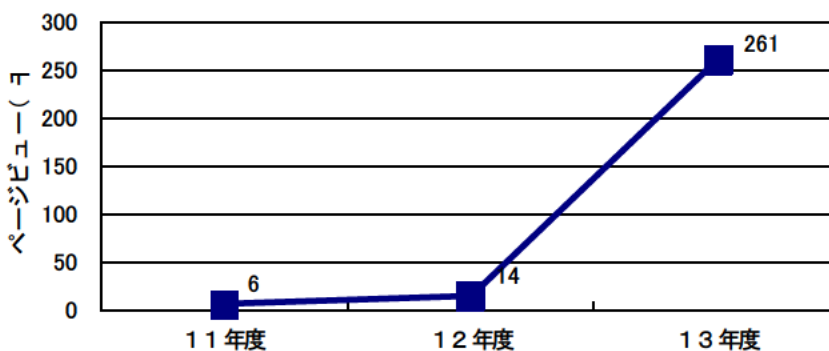


HP「三重の環境」トップページ

【ホームページの特徴】

- ・県の取り組みはもちろん、県民、企業等の活動についても積極的に情報を発信しています。
- ・三重の環境に関連する条例・規則・計画、審議会委員・職員名簿等すべて公開しています。
- ・大気環境は「リアルタイム」で常時監視データを公開し、リスクを共有しています。
- ・質問、意見などへの回答をすべてホームページ上で公開し、双方向の対話を実現しました。
- ・知事が講演会・雑誌寄稿などで語る「環境への考え方や取組」をすべて掲載しています。

環境情報アクセス件数(1ヶ月平均)



イ 環境白書の発行

三重県の環境問題に対する理解を一層深めていただきたくため、三重県の環境状況と環境先進県づくりの取組を環境白書としてとりまとめ、ホームページ「三重の環境」で、『環境白書（全文）』及び『環境白書に見る三重の環境（概要版）、同（英語版）』を掲載するとともに、県内の学校、図書館等に印刷物を提供しています。

「環境フェアは、環境活動に取り組む人たちの出会いの場」

県民、企業、関係団体、環境NPOなどが参加し、21世紀における循環型社会の形成に向けて、地球環境の保全から身近な環境問題まで、様々な環境取組を発信するとともに情報共有する場として、平成13年5月26日（土）～27日（日）、伊勢市の「三重県営サンアリーナ」において「MIE・みんなで創る環境フェア2001」を開催しました。



環境フェア2001 来場者数：63,000人 出展団体：240団体

(2) コミュニケーションの状況

生活者起点の環境行政を目指して、県民の皆様との積極的な意見交換を行っています。

ア 「県民の声」への対応

県内外の皆様から電話や葉書・封書、電子メールでお寄せいただいた環境関連のご意見やご質問に対して速やかに対応するとともに、内容や対応を「県民の声データベースシステム」に登録し、情報を共有化することで、県民ニーズの把握、苦情再発の防止等に積極的に活用しています。

平成13年度に「県民の声データベース」に登録されたご意見のうち、環境に関する県民の声の件数は129件ありました。

イ 政策決定等への活用

県の有する情報については、意思形成段階から公開することを基本として、県民1万人アンケートや県内事業所アンケート及びインターネットのホームページなどによりパブリックコメントを募集し、その意見を施策や事業の展開に反映しています。

また、県民、企業、市町村それぞれの協働・連携組織である「三重環境県民会議」「県・市町村環境協働・連携会議」、「環境創造活動を進める三重県民の会」、「企業環境ネットワーク・みえ」との情報交換を行い、施策や事業の構築に反映しています。

ウ 創造の森（プレゼンテーションルーム）の活用

環境部内に、県産の木材等を使用したプレゼンテーションルーム「三重の環境 創造の森」を配置し、県庁訪問者とのコミュニケーションの場としています。小学校の社会見学のコースとして、職員が三重県の環境施策や県庁の環境取組について説明したり、企業や学識経験者等と職員との情報交換の場として活用するなど、県民の皆様とのコミュニケーションの場として積極的に活用しています。



「創造の森」で学習する小学生